

小学校2年生も 少人数学級にしてください

陳情書の内容は『国や県に対して「少人数学級の財政負担」を求める意見書の提出』など3項目

小学校2年生も 少人数学級に

「議場で反対理由をちゃんと聞きたかった」などの感想が議会を傍聴した方からよせられています。

6月27日に開かれた、尾張旭市6月議会最終日。『少人数学級の早期実現を求める陳情書』は3名の賛成(川村・塚本・大島)4面参照)で、反対討論もなく不採択となりました。

一万筆を超えた署名を 本会議で理由も言わずに否決

ですが、陳情文に『まず、現1年生が2年生への進級時に「40人学級」にならないよう』とあるように、来年度小学2年生でも、1年生で実施している「35人学級」を実現することが、尾張旭市に求められた現在の課題です。

予習不足が目立つ 委員会での議論

これまでの旭民報でも、お伝えしてきたように、反対理由を全く語らずに陳情を否決するという他党派議員の態度は、いつものことですが、107

15筆という署名数を受け、今回ばかりは全く何も言わないわけにはいかなかったようで、陳情が付託された民生文教委員会では数名の議員が反対意見を発言しています。

今回の旭民報では少人数学級について財源も踏まえて2・3面に特集しました。

障がい児対応の充実も、少人数学級の実現も、どちらも重要です。これらの反対理由は、両方とも行えるだけの財源を確保できれば、解消するとも受け止められます。

陳情に対する議論は、議員の考えを示せば良いのですが「市としてはどう考えているの?」という調子の予習不足を露呈する内容が続きました。反対理由としては、「少人数学級よりも障がい児対応の充実をするべき」(市ク1佐藤議員)「財政などを考えると厳しい」(あ21森下議員)

ご意見をお寄せください

川村つよし 尾張旭市庄南町1-5-2
TEL 052-772-9298 FAX 052-771-3871

塚本みゆき 尾張旭市東名西町2-7-1
TEL 052-798-1302 FAX 052-799-2609

E-Mail: asahijcp@ma.gctv.ne.jp



市会議員
塚本みゆき



市会議員
川村つよし



前参議院議員
八田ひろ子

大きな世論を作り、一緒に政治を変えて行きます。

6月議会 賛否の分かれた議案などに対する各議員の態度

議案などの名称	会派	市民クラブ				あさひ21				平成クラブ			公明党		創新クラブ										
	議員名	川村剛	塚本美幸	大島もえ	佐藤信幸	早川八郎	水野利彦	水野義則	※渡辺欣聖	相羽晴光	伊藤憲男	岩橋盛文	斉場洋治	坂江章演	森下政己	服部勝	原淳磨	森和美	行本聖一	若杉たかし	伊藤恵理子	丹羽栄子	良知静夫	谷口マスラオ	山下幹雄
請願 1号 小泉首相に靖国参拝の中止を求める…	○	○	○	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情 8号 最低賃金の引き上げ、公契約における賃金・労働条件の改善及び均等待遇実現に関する陳情	○	○	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情 9号 憲法を生かし、住民の暮らしを守る行政推進を求める陳情	○	○	○	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情 10号 住民の暮らしを守り、安全・安心の公共サービス拡充を求める陳情	○	○	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情 11号 少人数学級の早期実現を求める陳情書	○	○	○	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

請願書・陳情書の本文から

請願1号 小泉首相に靖国参拝の中止を求める 意見書提出についての請願書

憲法20条は「いかなる宗教団体も、国から特権を受けてはならない」としているため、首相の参拝は憲法違反である。太平洋戦争を侵略戦争と認めない靖国に重ねて参拝することは外交上、日本の国益とはならない。

陳情8号 最低賃金の引き上げ、公契約における賃金・労働条件の改善及び均等待遇実現に関する陳情
健康に働けるだけの所得を得られるように、最低賃金の大幅引き上げを願う。

陳情9号 憲法を生かし、住民の暮らしを守る 行政推進を求める陳情

「九条の会」は全国に4000以上、「非核平和都市宣言」は、全自治体の74%となっている。平和憲法を堅持し、戦争反対を表明して下さい。

陳情10号 住民の暮らしを守り、安全・安心の公共サービス拡充を求める陳情
福祉や教育など住民生活に直結する公務員の削減、公共サービスの民間開放は行わず、充実して下さい。
陳情11号 少人数学級の早期実現を求める陳情書
今回の特集記事です。1・2・3面をご覧ください。

川村つよし議員の質問

- 今後の歳入構造の変化について
- 全市民対象の健康づくり方策について
- 多重債務者に対する相談業務の強化を求める
- 医療費抑制策について
 - ジェネリック医薬品の利用促進策
 - 保健指導
- フリーター・パート・失業者を対象とした労働法講座の必要性について

塚本みゆき議員の質問

- 児童クラブについて
 - 過密化する児童クラブ対策について
 - 全児童対策と放課後児童健全育成事業について
- 公立保育園の指定管理者制度導入について
- 公共交通について
 - 利用料金について
 - 運行時間を朝・夕1時間延長することについて
 - 日・祝日の運行について
- 介護保険について
 - 軽度者に対するサービス切り捨てについて
 - 地域包括支援センターについて
 - 保険料の減免について

紙面の都合で質問項目のみ掲載しました。9月には議事録を図書館や市ホームページでご覧になれます。

少人数数学級は急務の課題です

子どもたちのために

強く予算要求をすべきです

「少人数数学級」とは、国が定めた1学級の上限人数40人を、少なくすることです。

現在愛知県では小学校1年生だけ、35人学級とされています。

全国的にも、住民世論を受けて道府県や自治体の努力により少人数数学級の導入が進んでいます。

子どもにかかわる様々な問題を解決する手段の一つとして、少人数数学級は効果が大きいと期待されています。

子どもにかかわる様々な問題を解決する手段の一つとして、少人数数学級は効果が大きいと期待されています。

「国や県がやるべきこと」(教育長)

もっともな意見ですが



財源をどう考えるかが鍵

定率減税の廃止・各種控除の見直しなど、庶民大増税の影響は、市民税にも影響を与えます。



国も尾張旭も

法人税には

手を出さない

市民が願う政策を執行しづらくなっているのは否定できません。

庶民にばかり痛みを求め、個人市民税として増える市の収入見直しは概算で6億7500万円です。

土地開発公社健全化 毎年6億数千円

過去に、尾張旭市では土地開発公社による甘い用地購入を続けた結果、今年から5年間、毎年6億数千円程度の出費が必要になりました。早く手をつけるほど傷口は小さいので、この土地開発公社の健全化は行うべきものですが、その影響で

少人数数学級実現には

4000万円程度

全学年で少人数数学級の実現ということになる、教室も足りず校舎を増築する必要もあり、すぐにはできませんが、小学校2年生だけなら多く見積もっても4000万円も見ておけば十分です。

世界的には1クラス20人前後

(01年3月に国会で野党共同提案された「30人学級法案」の趣旨説明)

世界の教室の趨勢は20人前後の子どもたちが、いくつかのテーブルを中心に活動的で協同的な学びを遂行し、個性的で多様なわかり方を表現し共有し吟味し合う空間へと変容しつつあります。広く浅く学ぶ効率中心の教育から深く学ぶ質の高い教育へと変換しています。(中略) 21世紀にふさわしい教室と学びの質の転換を図る40人学級から30人学級への改革こそが不可欠なのです。

尾張旭市教育長も賛成

(6月の民生文教委員会で見解を問われて)

一人一人を大切にするために、先生も非常に苦労している中で、先生の負担を少なくするのに、少人数数学級は一つの方法。特に小学校1年生・2年生については、学習態度・生活習慣をしっかりと身につけるといいう点でも、高学年よりも手間といていねいな指導が非常に大切。今の40人学級よりも、2年生が35人学級になることは賛成。ただ、義務教育であれば国ないし県が人的な保障をすべき。

お金の無いところばかり負担を増やす
やり方は国も尾張旭も同じです

国は定率減税が導入されたときに行った法人税減税はそのままにしています。尾張旭市では、法人市民税の不均一課税を行えば8000万円程度の増収が見込めるのに、手を付けようと思いません。もうかっている企業にはもう少し負担してもらっても良いと思うのですが。

法人市民税の不均一課税

法人市民税の法人税割の税率は、地方税法において標準税率が12.3%、上限が14.7%と定められています。県内33市の不均一課税の状況は名古屋市や瀬戸市など11市が採用しています。仮に瀬戸市と同様の不均一課税を行えば、約8000万円(試算では上位237社が対象)の増収が見込めます。